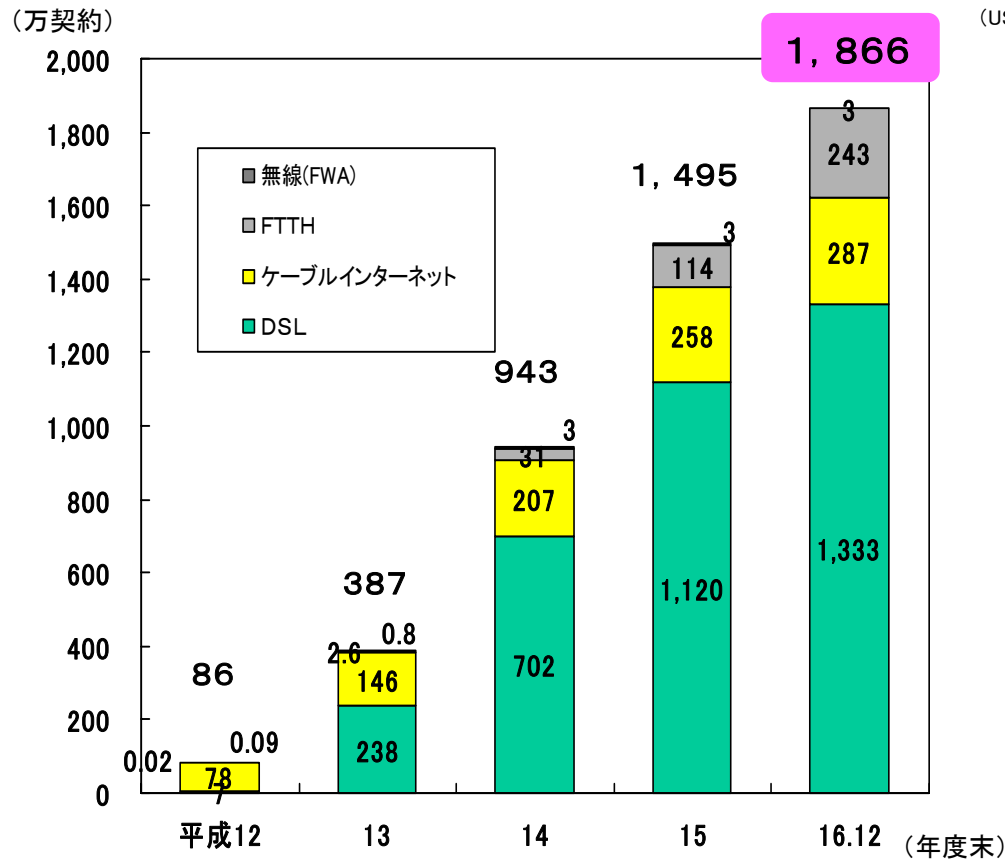


IV u-Japanを支えるネットワークインフラ

1 ブロードバンド化の進展

- ◆ ブロードバンド契約数は1,866万と引き続き順調に拡大。料金水準も世界で最安
- ◆ FTTH未利用者の乗換意向は高い。乗換予定のある者のうち1年以内の乗換を考えている者は約3割

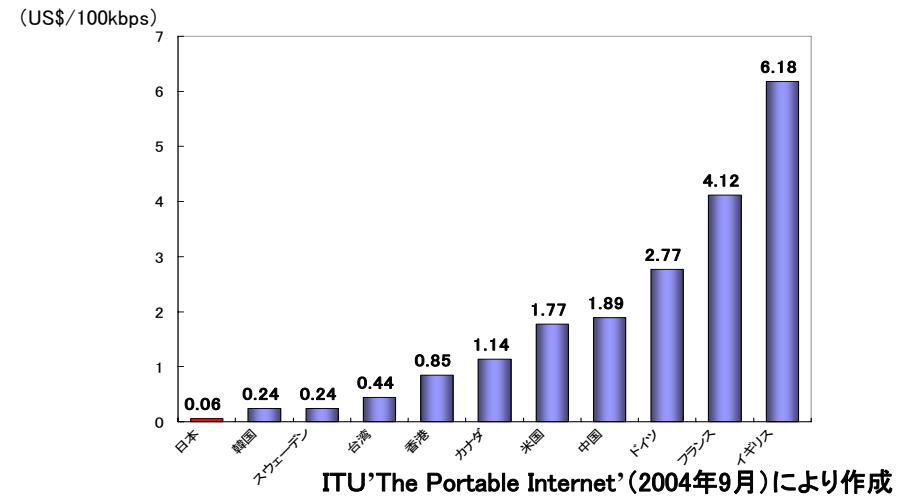
図表① ブロードバンド契約数の推移



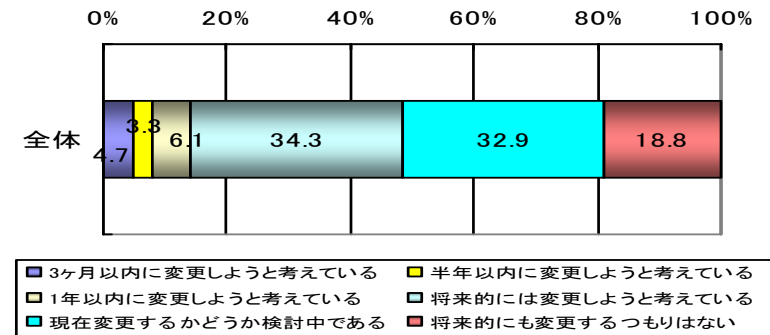
※平成16年は年末時点の数字

総務省資料により作成

図表② ブロードバンド料金の国際比較(2003年)



図表③ FTTHへの変更意向

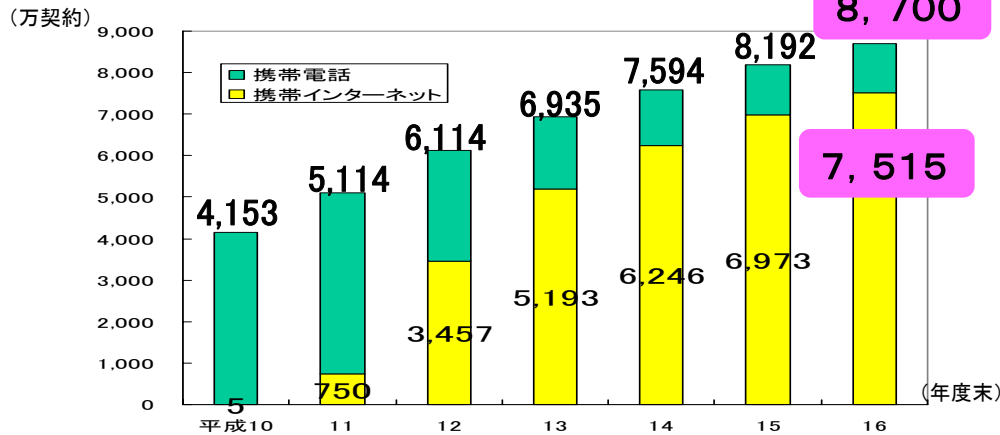


(出典) 「ネットワークと国民生活に関する調査」(ウェブ調査)

2-1 モバイル化の進展

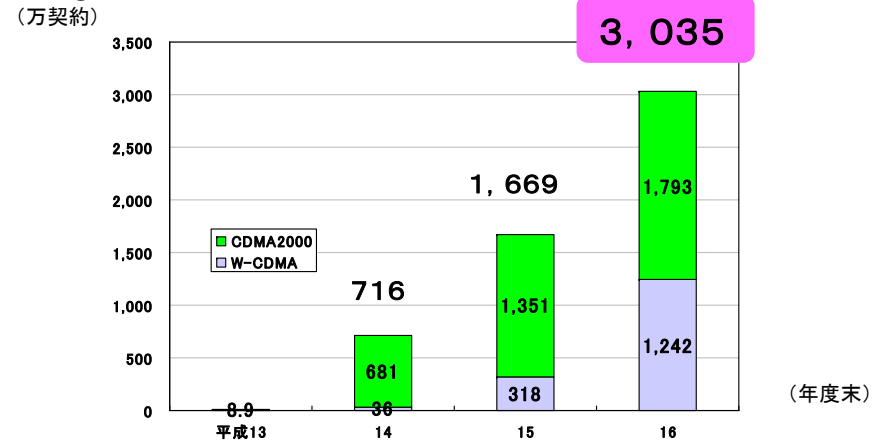
- ◆ 携帯電話契約数は8,700万であり、引き続き増加しているが伸び率は鈍化。携帯インターネット契約数は7,515万、携帯電話契約数に占める割合は86.4%。第3世代携帯電話契約数は3,035万契約と急速に増大
- ◆ 我が国の携帯電話のインターネット対応率(94.1%)は世界第1位。日本と韓国が突出
- ◆ 一つの端末で屋内では固定通信網に、屋外では移動通信網に接続してネットワークを切れ目なく利用できるサービス(FMC: Fixed and Mobile Convergence)が登場

図表① 携帯電話契約数の推移



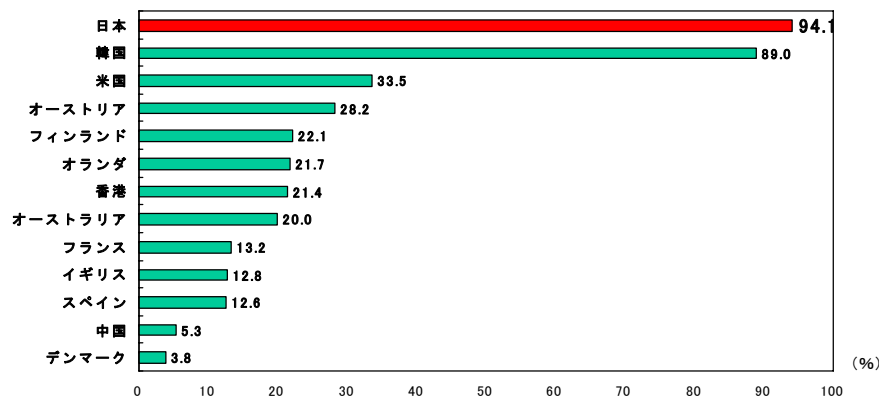
(社) 電気通信事業者協会資料により作成

図表② 第3世代携帯電話契約数の推移



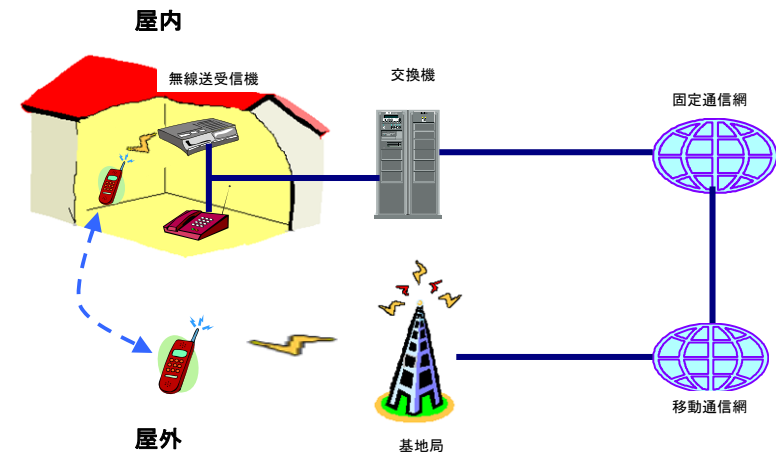
(社) 電気通信事業者協会資料により作成

図表③ 携帯電話のインターネット対応比率(2004年9月末)



「3G Mobile」により作成

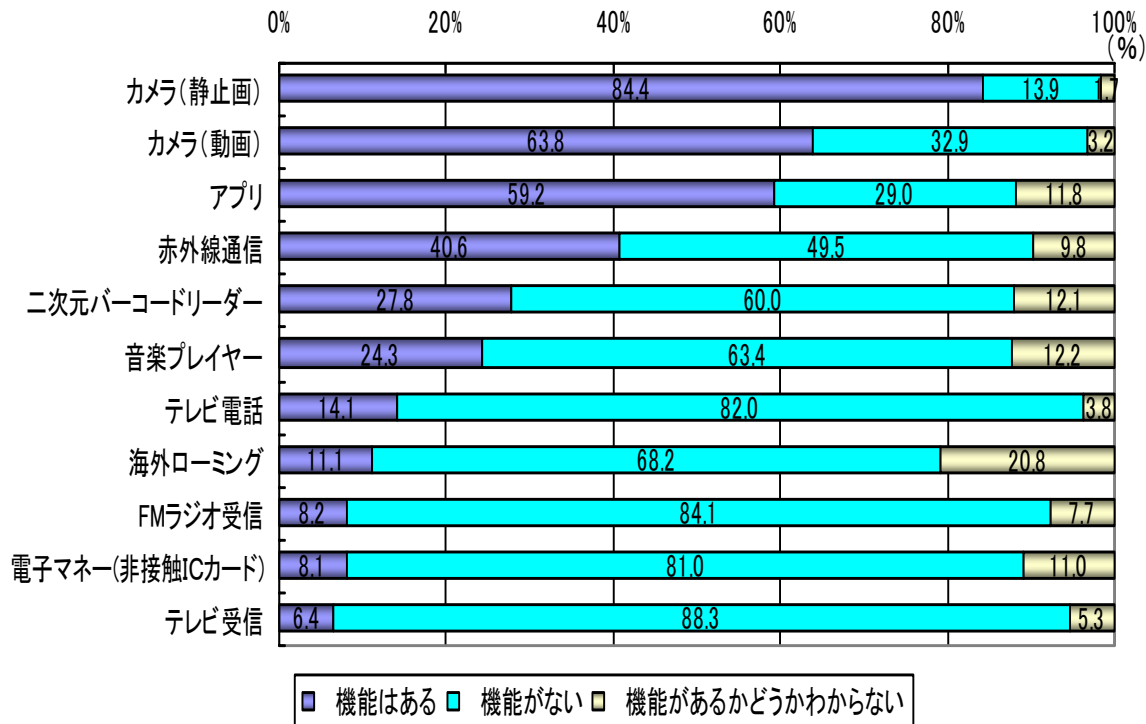
図表④ FMCの概念図



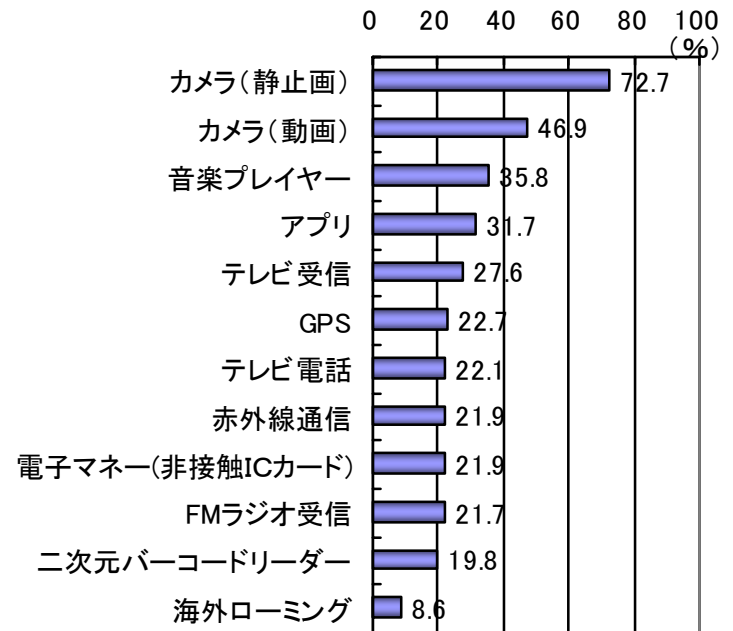
2-2 モバイル化の進展（携帯電話の高機能化）

- ◆ 携帯電話の高機能化が進展。今後の利用意向が高い機能は、「カメラ」、「音楽プレイヤー」、「アプリ」、「テレビ受信」。まだそれほど普及していない「音楽プレイヤー」、「テレビ受信」機能の搭載が進む可能性

図表① 携帯電話に搭載されている機能の有無



図表② 各機能の利用意向

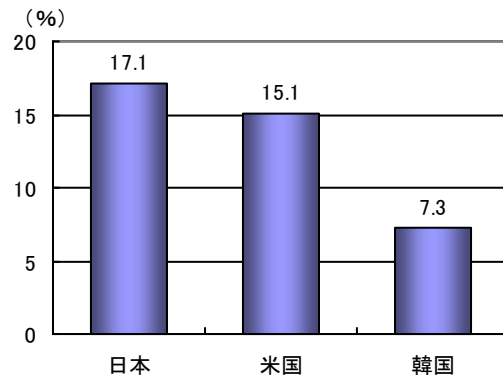


(出典)「ネットワークと国民生活に関する調査」(ウェブ調査)

2-3 モバイル化の進展(無線LAN)

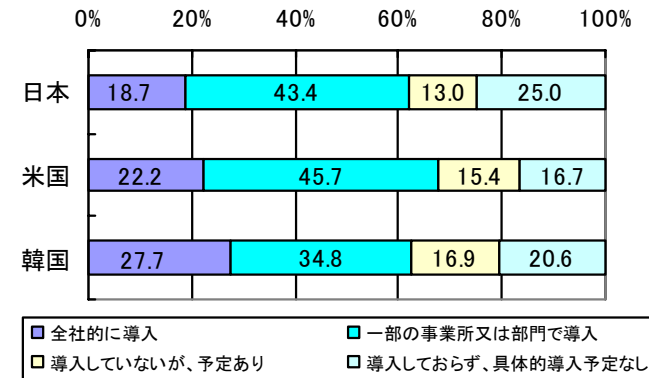
- ◆ 家庭、企業において無線LANが普及
- ◆ 公衆無線LANの基地局数は急増。公衆無線LANの利用者は12.5%、米韓に比べると利用率は低い

図表① 世帯の無線LAN導入率



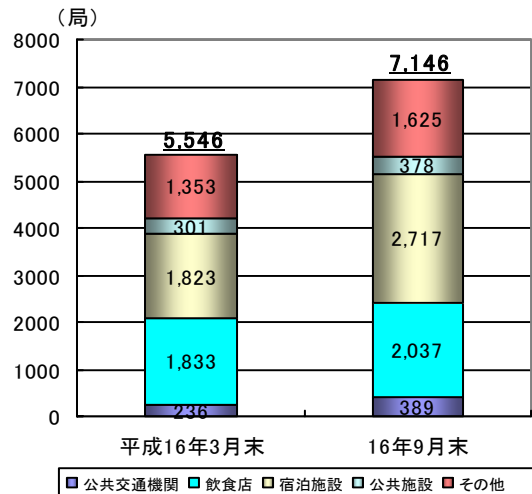
(出典)「ネットワークと国民生活に関する調査」(ウェブ調査)

図表② LAN導入企業の無線LAN導入率



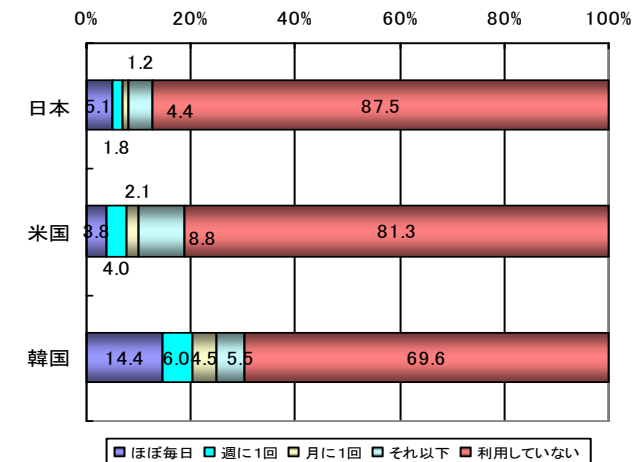
(出典)「企業のICT活用現状調査」(ウェブ調査)

図表③ 公衆無線LANの基地局数の設置の推移



(出典)「電気通信サービスの供給側/需要側の動向調査(平成16年度)」

図表④ 公衆無線LANの利用状況

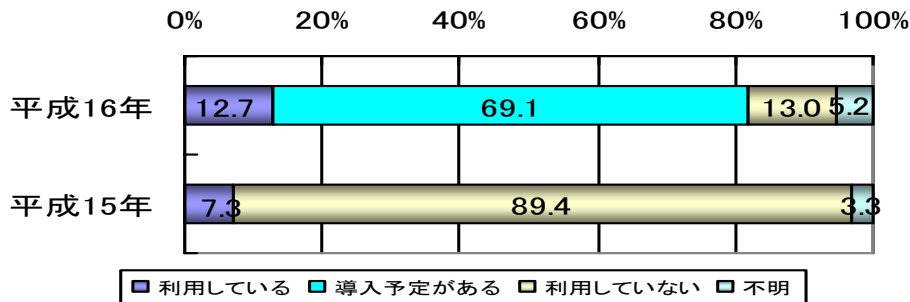


(出典)「ネットワークと国民生活に関する調査」(ウェブ調査)

3 ネットワークのIP化の進展

- ◆ 世帯のIP電話利用が増加。導入予定世帯も多く、今後さらに拡大
- ◆ 企業通信網の幹線系では、「IP-VPN」、「インターネットVPN」の利用が拡大
- ◆ IPv6への対応企業は約4割、未対応企業も約4割。米韓も同様な状況。普及時期は3年以内とする企業が約6割
- ◆ 内外の電気通信事業者もネットワークのIP化を相次いで発表。こうした中、IPネットワークの相互接続・運用性の確保が一層重要に

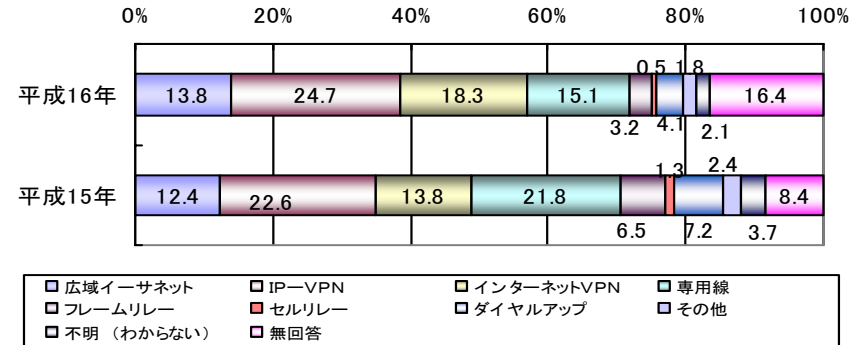
図表① 世帯のIP電話利用率



※「導入予定がある」の選択肢は平成16年に追加

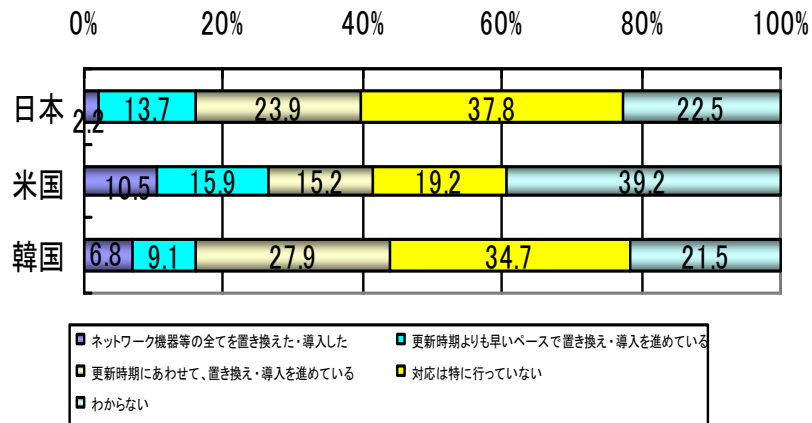
(出典)「通信利用動向調査」

図表② 企業通信網で幹線系に利用されるサービス



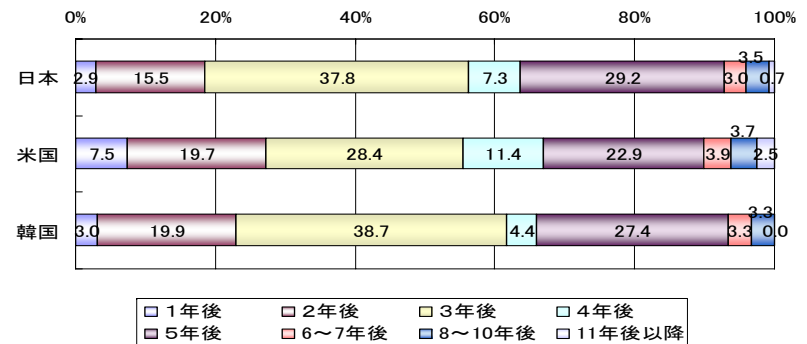
(出典)「通信利用動向調査」

図表③ 企業のIPv6対応状況



(出典)「企業のICT活用現状調査」(ウェブ調査)

図表④ IPv6が普及する時期

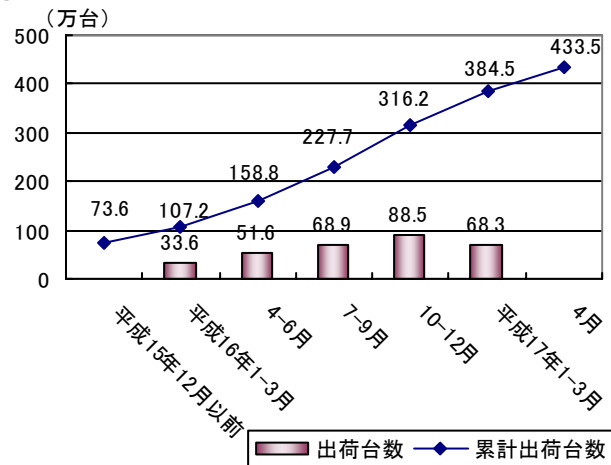


(出典)「企業のICT活用現状調査」(ウェブ調査)

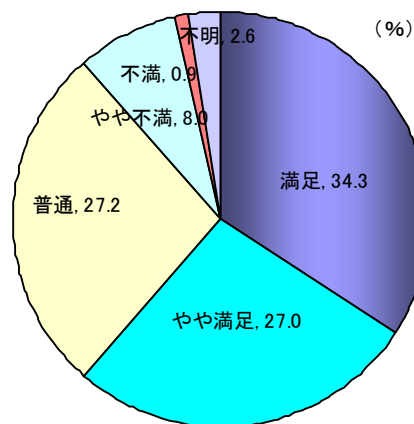
4 地上デジタル放送の普及

- ◆ 地上デジタル放送は順調に放送エリアを拡大。また、地上デジタル放送対応受信機の出荷台数は急速に増大
- ◆ 地上デジタル放送への満足度は高い。また、地上デジタル放送への今後の期待は、高音質・高画質番組、地域情報・災害情報の充実などが高い

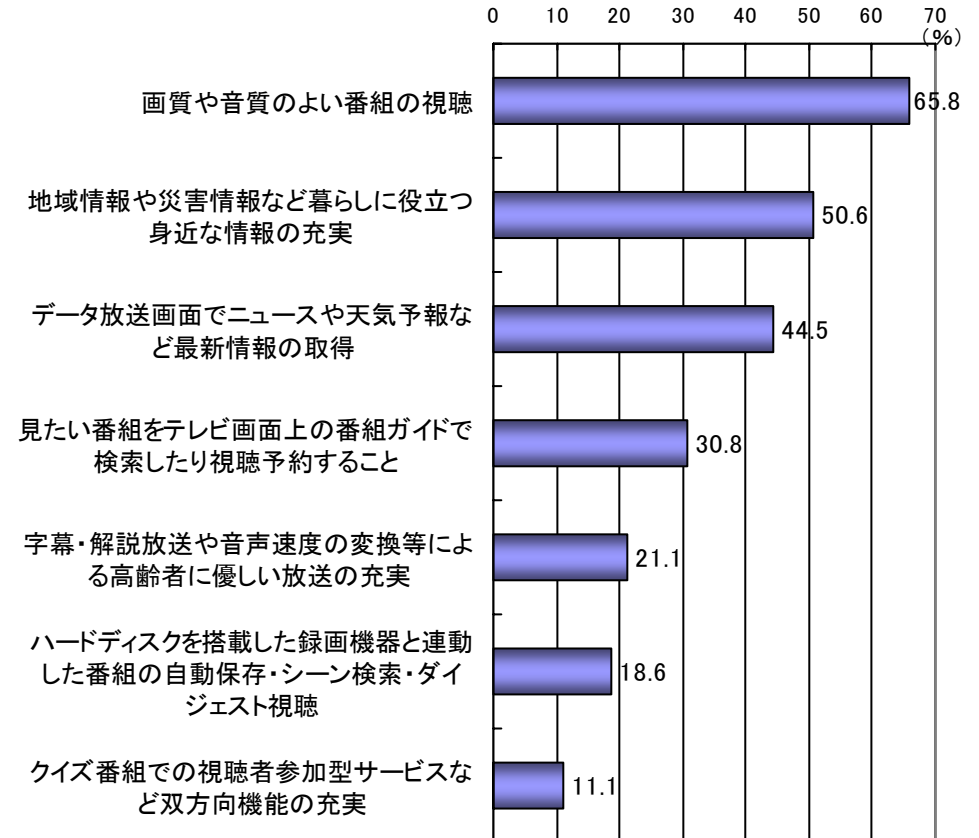
図表① 地上デジタル放送対応受信機の出荷台数



図表② 地上デジタル放送の満足度



図表③ 地上デジタル放送に期待すること

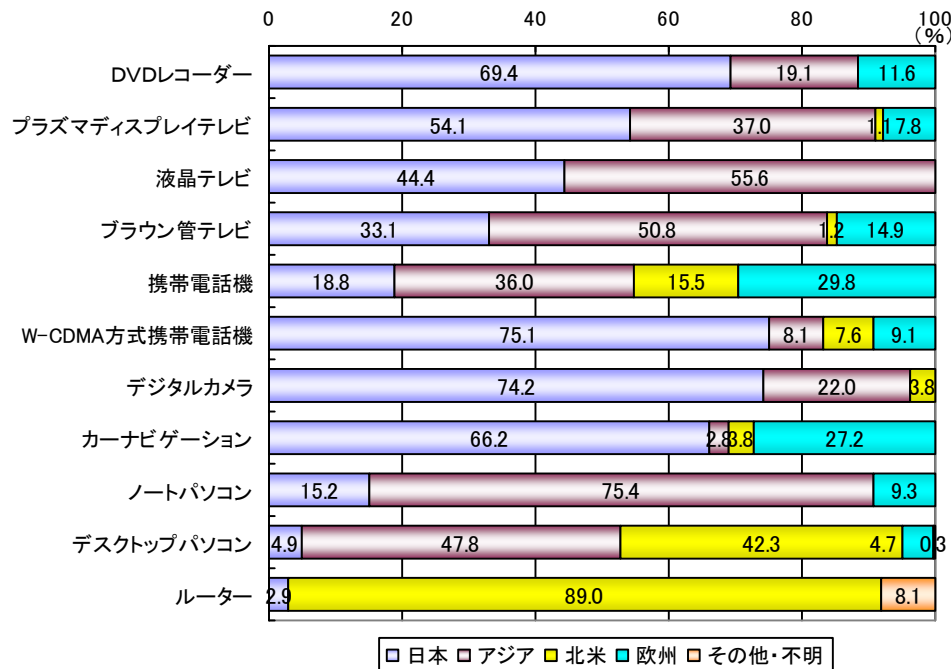


図表②、③ (出典)総務省「地上デジタルテレビジョン放送に関する浸透度調査」

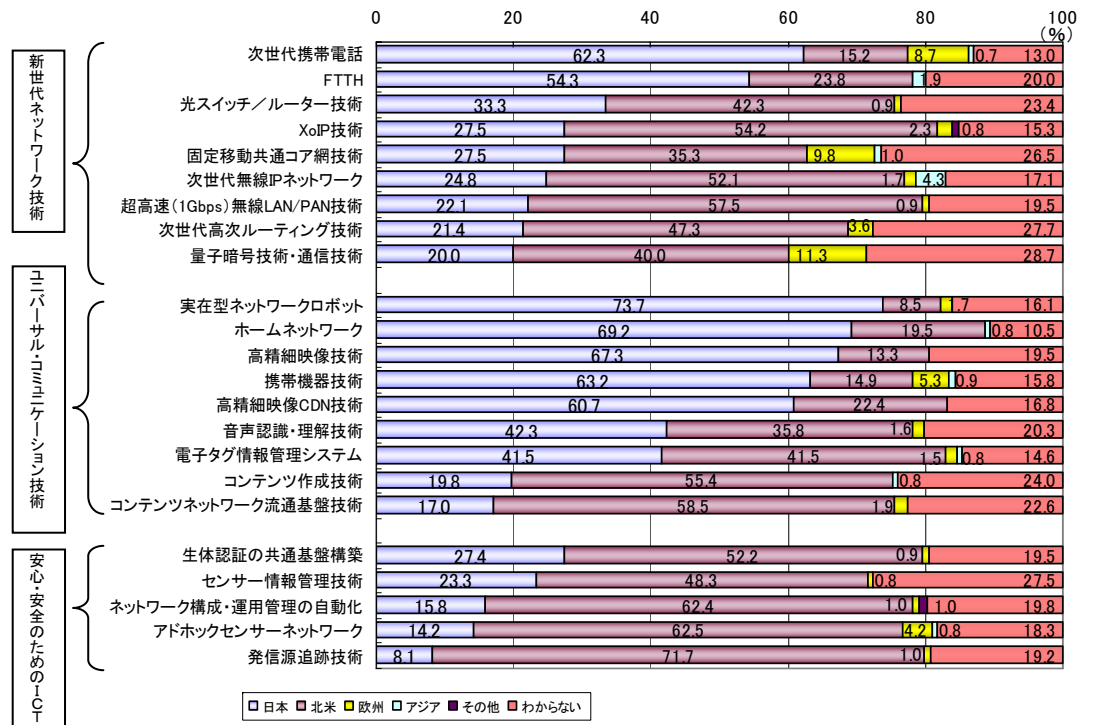
5 情報通信機器、情報通信技術の日本の優位性

- ◆ 我が国は、情報家電及び関連部品に強み。また、携帯電話機自体の市場占有率は低いが、携帯電話機関連部品では強み
- ◆ ユビキタスネットワーク関連技術では、「FTTH」、「次世代携帯電話」、「ネットワークロボット」、「高精細映像技術」、「ホームネットワーク」等で日本は優位。他方、「発信源追跡技術」等の安心・安全のためのICTでは北米が優位

図表① 我が国の世界における主な情報通信機器の市場シェア(2004年)



図表② ユビキタスネットワーク関連技術の優位性に関する国際比較



(出典)「ユビキタス社会の動向に関する調査」